

取付後、本書は必ず御施主または御入居様へお渡し下さい。

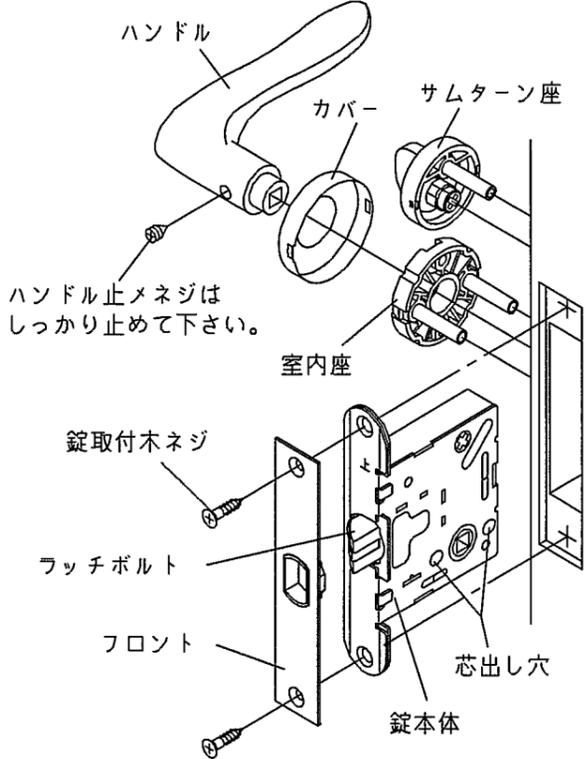
# LVSケースロック 仕様

## セパレート丸座 ND・DR座 レバーハンドル錠 取付説明書 (空錠・内締錠・表示錠・シリンダー錠)

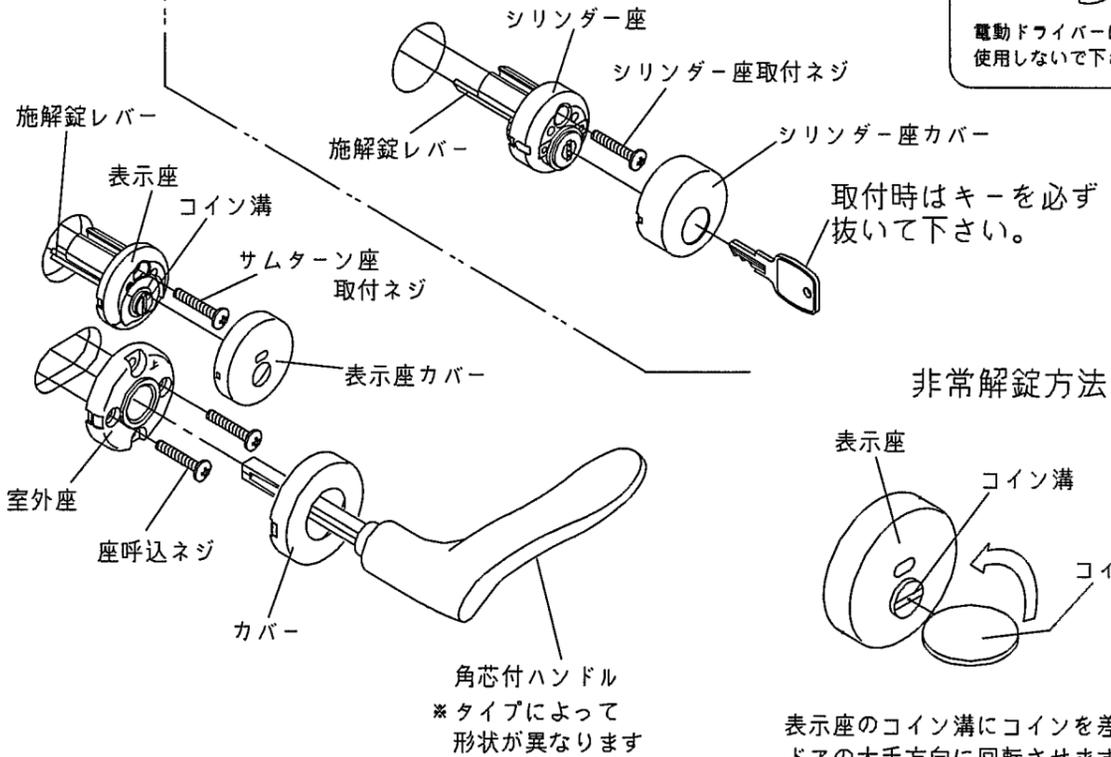
一般住宅屋内用  
(浴室は除く)

### 取付上の注意

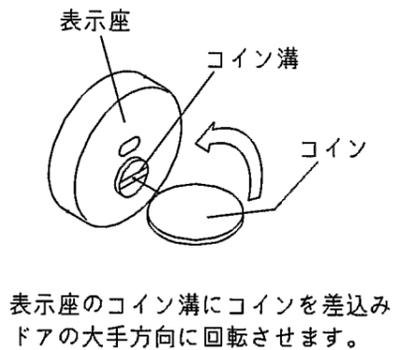
- ※本製品は、玄関や屋外では使用しないで下さい。
- ※座呼込ネジは必要以上に強く締め付けしないで下さい。  
扉本体を变形させたり、錠の機能に支障をきたす恐れがあります。



### シリンダー錠の場合

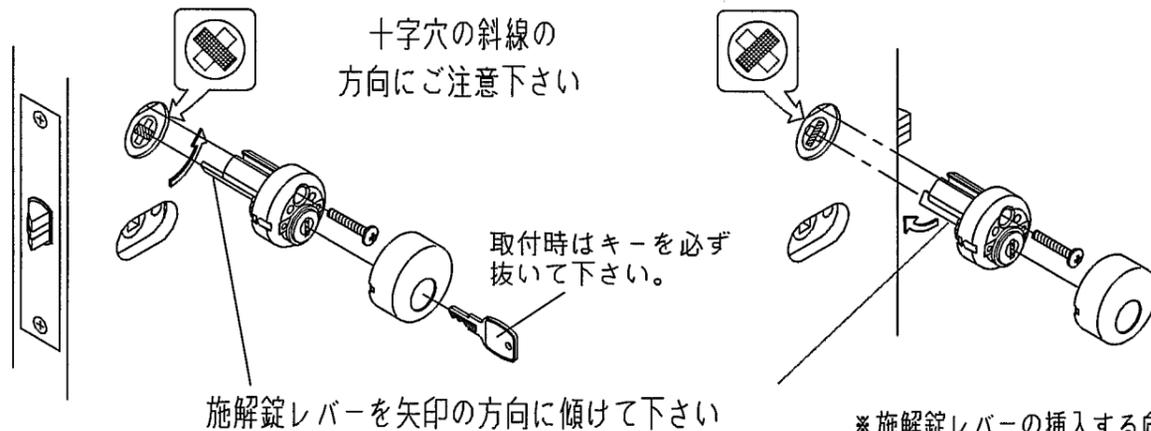


### 非常解錠方法



### 取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
  2. ラッチボルトを指で押し込んでみて解錠状態であることを確認して、錠本体を刻印の向きに差込んで下さい。
  3. ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから、錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
  4. 外側座を錠本体の芯出し穴に差込み、室内側座とハンドル座取付ネジで仮止めして下さい。
  5. 芯出しのため、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締め付けて下さい。
  6. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーの切欠きを合わせてはめ込んで下さい。
  7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジでしっかり止めて下さい。
  8. 表示座のコイン溝を縦にして、施解錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。  
内側のサムターンも縦にして表示座とサムターン座を組み合わせ、サムターン座取付ネジで固定して下さい。
  9. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認して下さい。
  10. 表示座カバーを切欠きに合わせてはめ込んで下さい。
  11. ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。
- シリンダー錠の場合
12. キーをシリンダー本体から必ず抜いて下さい。
  13. 下図のように施解錠レバーを矢印の方向に傾け、室内座のサムターンを縦にして内外の座合わせます。  
ドアを開けたまま、サムターン及びキーを回して、正しく施解錠するかどうか確認してください。
  14. シリンダー座カバーを切欠きに合わせてはめ込んで下さい。



※施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、  
正常作動出来なくなりますのでご注意下さい。

### 取扱上の注意

1. ネジがゆるんだ状態で使用していると、錠に負担がかかり扉が開かなくなる重大な事故になる場合があります。  
ネジの増し締めをお願いします。
2. レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

### 表面のお手入れについて

1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

# 加工型紙

## 注意

表示錠・シリンダー錠を取り付ける際、 $\phi 30$ の穴を現地加工して下さい。  
ケース錠は、取り付け済みなので先に外してから加工作業を行って下さい。

